

会 議 議 事 録

1 会議名	令和3年度第2回長岡市障害者自立支援協議会
2 開催日時	令和4年3月28日（月曜日） 午前10時から午前11時30分まで
3 開催場所	長岡市社会福祉センタートモシア 3階 多目的ホール
4 出席者名	<p>（委員） 西脇 美智子 会長 入倉 光一郎 副会長 井田 智子 委員 井上 陽子 委員（欠席） 大崎 良彦 委員 太田 大輔 委員 小田島 奈緒子 委員 神村 典子 委員（欠席） 菊入 恵一 委員 桑原 拓 委員 小林 由香 委員 鈴木 陽子 委員 高桑 祐子 委員 高橋 秋美 委員（欠席） 中川 よし枝 委員 林 勝彦 委員（欠席） 藤田 芳雄 委員（欠席） 三谷 力哉 委員</p> <p>（事務局） 福祉保健部長 福祉課長 福祉課長補佐 福祉課障害者基幹相談支援センター長 福祉課障害活動係長 福祉課障害支援係長 子ども・子育て課子ども家庭センター所長 ほか関係職員 相談支援センターふかさわ（欠席） 障がい者支援センターあさひ 越路ハイム地域生活支援センター 相談支援センターふかさわ分室サンスマイル 障害者相談支援センターとちお</p>
5 議題	<p>（1） 専門部会での検討状況等について</p> <p>（2） 委託相談と計画相談の人員体制の確保について</p> <p>（3） 今年度の振り返り</p> <p>（4） その他</p>

6 審議の内容	
発言者	内 容
障害者基幹相談支援センター長	令和3年度第2回長岡市障害者自立支援協議会を開会いたします。開会にあたり、福祉保健部長が御挨拶申し上げます。
福祉保健部長	<p>本日は年度末のお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃から長岡市の障害者福祉施策に多大なるご理解ご協力をいただいておりますこと感謝を申し上げます。</p> <p>さて、今年度は第6期障害者基本計画、障害福祉計画の初年度でございます。福祉施設の入所者の地域生活への移行や地域生活支援拠点の整備、障害者支援に一層の充実が図られるよう皆様と一緒に取り組んできました。その中で強度行動障害の方々が希望通りのサービスを受けられないといった受け皿不足の問題について、自立支援協議会でもサービス受け皿検討部会を立ち上げて、皆さんからも様々なご提案をいただきました。市といたしましても新年度から新たなプロジェクトを立ち上げ、いわゆるマッチング支援ですとか、施設のほうの設備に対しての補助、障害をお持ちの方が希望通りの利用ができるような支援を強化してまいりたいと考えております。</p> <p>そのほか相談支援体制の充実ですとか、精神障害にも対応した地域包括システムの構築などの重点課題等を検討してきました。今後も地域共生社会の推進を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>本日はこの1年間の振り返りとともに、検討状況など共有を図ってまいりたいと思っております。今後も皆さんそれぞれのお立場で長岡市の障害者福祉施策に対するご理解ご協力をいただきまして、障害者福祉に一層の充実が図られるようお願い申し上げます。本日はよろしく願いいたします。</p>
障害者基幹相談支援センター長	<p>部長は、この後他の公務が入っておりますので退席させていただきます。</p> <p>次に、本協議会会長の長岡商工会議所女性会会長、西脇様よりご挨拶いただきます。よろしく願います。</p>
西脇会長	<p>皆様おはようございます。ご紹介いただきました西脇でございます。</p> <p>1年間、毎月協議会に出席させていただきました。本会が抱える問題というのは、ものづくり、営業成績、活動の量とか質で、なかなか解決しづらい課題を抱えているなど実感してきた1年でした。今日はその1年間の成果を各部会からの報告、各部会で熱心に取り組んでいただいたことを報告させていただきます。挨拶に代えさせていただきます。</p>
障害者基幹相談支	ありがとうございました。続きまして、本日の出席者について報告いたします。

<p>援センター長</p>	<p>委員の皆様の出欠については、別紙名簿の通りでございます。 (出欠の説明) それではこれから議事へと移りますが、これ以降の進行につきましては西協会長 にお願いいたします。</p>
<p>西協会長</p>	<p>次第に沿って進行を進めさせていただきますのでご協力をお願いいたします。 次第、3 専門部会等での検討状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制部会 (資料No.1-1～1-5により説明) ・相談支援部会 (資料No.2により説明) ・就労部会 (資料No.3-1～3-3により説明により説明) ・地域づくり部会 (資料No.4-1～4-2により説明) ・障害者にも対応した地域包括ケアシステム協議の場 (資料No.5-1～5-2により説明) ・サービス受け皿検討部会 (資料No.6-1～6-2により説明)
<p>西協会長</p>	<p>それでは専門部会等への検討状況等について皆様より、ご意見ご質問をいた きたいと思えます。それぞれ一言ずつ頂いても良いでしょうか。</p>
<p>A委員</p>	<p>サービス受け皿検討部会のお話を伺った中で気になったのが、資料No.6-1の 第2回のところで全体の4割ほどを占める「空床はあるが新規の相談不可」とい うところで、行動障害や障害特性により個別対応が必要ではあるけれども、体制 の不備で利用できない人がいるということのかなと思ったので、こういう人は どうされているんですか。ご家族とか本人は困ってられないのかなと思って心 配になりました。</p>
<p>障害者基幹相談支 援センター職員</p>	<p>頂いた意見の通りで、本当に困っている方が利用できないといった体制は本来 の形ではないと思っています。ただ断られる理由としてあるように、職員の配置 がうまくいかなかったり、スキルがない、環境的な課題があつてどうしても受け 入れができないという生活介護の事業所の実態も聞いています。少しでも費用助 成とか、スキルアップの部分で研修会の提供ですとか、すぐに解決はできないと 思いますけど、できるところから整備をしていきたいと思っていますし、大きな 地域課題だと受け止めています。</p>
<p>B委員</p>	<p>2つ質問させてください。 1つ目に地域づくり部会です。来年度以降も延長ということで聞いておりますが、 資料の4-2のところでは今後詰めていくところになるかもしれませんが、現時点 で聞かせていただければと思います。裏面のコーディネーターの内容について、</p>

	<p>事前に登録をしていただいて、緊急時の受け入れ先が調整済みの方に関しての支援と書かれています。実際に調整がうまくいっていない、もしくはマッチングの部分でまだ受け入れ先が決まっていなの方に関してですが、これに関してはどのような形で、もしご連絡を受けた場合、コーディネーターのところまわってくるのか、もしくはまわる前に難しいというところなのか、その辺の仕組み等わかるところで回答いただければと思っています。また今後のマッチングという仕組みづくりに期待したいと思うところですが、まず1点お聞かせください。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター職員</p>	<p>最終的にマッチング、登録をさせてもらった方を対象とさせてもらう形なので、短期入所事業所とのマッチングができていないような状況ですと、今回の対象者にはなりません。今後時間が進むにあたってマッチング、登録を進めさせていただきますが、マッチングができていない状況ですとまだこれからというような形になります。</p>
<p>B委員</p>	<p>マッチングのところの仕組みづくりも期待したいと思います。</p> <p>2つ目は、サービス受け皿検討部会です。介護保険の基準該当施設と利用者の拡充が検討がなされておりますが、情報交換をされたということでしたので、老人施設側の職員の受け止めとしては、介護保険の基準該当施設と利用者の拡充は可能性としてはあるのか、もし分かれば教えてください。</p>
<p>障害者基幹相談支援センター職員</p>	<p>老人施設側の職員に実際来ていただいて、障害福祉サービスの通常の生活介護が足りないということを知っていただいて、正直びっくりしたと言っておられます。こんなにたくさんの方がいらっしゃることに驚いていました。あわせて介護保険のデイサービスの件数が多いですが、今空いているような状況も実はあるんですよというお話も聞かせてもらっています。その中で私たちが今困っている行動障害の方をお願いされるのは、介護保険のデイサービスの方もスキルがないので心配だなど、おっしゃっていました。ただ私たちは、誰でもかれでも高齢のほうに行ってくださいということではなくて、高齢のデイサービスでもお過ごしいただけるような方、軽度の方であったり、身体障害の方であったりを想定していますとお伝えしたら、それであればもしかしたら対応できますということも言ってくださいました。障害のほうは送迎ひとつとっても対応できていなくて、ご家族に協力頂いていたりということがありますが、高齢のほうのデイサービスはほぼ100%送迎されていますし、障害の通所で希望されるような食事の提供とかお風呂の支援、余暇活動の辺りも介護のデイサービスはとても充実しているので、もしご本人が高齢の中で過ごせるようであれば利用してもらってもいいかなというお話は頂いています。</p> <p>また基準該当で介護保険の支援に使っていただくと、事業所に入るお金の部分</p>

B 委員	<p>も変わってくるところもあるので、すべてがすべてすぐやりましようとはならないと思いますが、具体的なお話を次年度も聞きながら、一人でも多くの方が希望するような日中活動を過ごせるようにしていきたいと思っています。</p> <p>ありがとうございます。街中で老人のデイサービスをたくさん見たりするので、サテライトとかどうなのかなと思ってお聞きしました。</p>
C 委員	<p>いつも高等総合支援学校の活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今日は学校で感じている生活介護の利用を希望する生徒への進路指導の厳しさというところをお伝えしたいと思っています。ここ数年間ですが、行動上の課題が大きい生徒、強度行動障害と言われている生徒、そして支援度の高い食事介助からすべての介助が必要であるというような生徒を受け入れていただくことが本当に難しい状況にあり、年々難しくなっているのかなと感じています。</p> <p>卒業後の日中の居場所や支援を受ける場として、生活介護の利用を希望するけれども、利用に繋がらない生徒が多いということです。親御さんが仕事を辞めるとか、お引越しをするなどご家庭の生活にも大きな影響が及んでいる現状にあります。それは高等総合支援学校に入学する前の小学部、中学部の親御さんからも不安を感じているという声が上がっています。</p> <p>令和3年度の生活介護を利用したいという希望者が6名でした。週5日1つの事業所を利用できることになったという生徒は6人中2名。3名については複数の生活介護事業所を併用しても週5日間という利用は難しいという状況です。さらに1名については1つの事業所の利用も叶いませんでした。学校としては関係機関の皆様と様々な機会に意見を交換させていただいたり、ともに考える機会をいただいたりしています。今回自立支援協議会の中で受け皿検討部会で検討をされている報告を聞かせていただき、うれしい限りです。</p>
D 委員	<p>就労部会のほうで今回就労パスポートを作成していただき、とてもいいなと思っています。利用者の就労を支える私たちとしては、使わせていただきたい、ありがたいなと思いました。</p>
E 委員	<p>新型コロナウイルス渦でこの協議会、話し合い、会議等を含め、いろいろ苦慮されたことだと思います。王見台の施設の話ですと、新型コロナウイルスのほうは利用者職員ともにいませんでした。濃厚接触者はいましたが事業所を閉めるということはありませんでした。入所の利用者に関しては面会、外出、制限がかなりありました。先ほどC委員からお話がありましたが、実習等の受け入れに関してもタイミングがなかったというのが正直ありました。年明け早々の実習は、まん延防等もあって延期、卒業式が終わった後、受け入れをしている状況です。</p>

	<p>他の施設に関してもかなり制限をして受け入れる体制が難しかったのではないかと思います。王見台の施設もそうですが、新型コロナウイルスだからできないではなくて、4月からはできることを探しつつ、各事業所単体ではなく、相談も含めながら在宅、入所も含めという生活ができるようにしていけたらと思っています。</p>
F 委員	<p>サービス受け皿検討部会について質問させていただきたいと思います。「介護保険の基準該当施設の利用拡充」とありますが、今されている高齢者の事業所もあると思いますが、どの程度利用されていて、今後どの程度拡充を予定されているのか教えていただきたいと思います。</p>
障害者基幹相談支援センター職員	<p>今現在でも介護保険の基準該当を取ってくださっている事業所の数は把握していませんが、いくつかあります。もともと基準該当は、支所地域で障害福祉のサービスがない地域の方に、介護のサービスを使わせてくれていたところがありますが、ここ最近支所地域の基準該当施設は縮小していきたくないという消極的な声も聞かれているような現状です。</p> <p>旧長岡市内にもいくつか基準該当を取ってくれていますし、計画相談の事業所から、障害の生活介護が全く使えないので、個々にお近くのデイサービスを利用していただいています。いくつかの事業所は拡充して下さっているようなところではあります。</p> <p>部会では全部の介護のデイサービスに対して、この地域課題をまず知ってもらいたいと思っています。その中で手を上げてくださるデイサービスがいくつか出るかは分かりませんが、まず困っている現状を知ってもらって、分野は違いますが、何かできることはないかと考えていただけるような機会を作っていきたいと思っています。</p>
F 委員	<p>ありがとうございました。新型コロナウイルスの関係になりますが、病院でも新型コロナウイルスで入院されますとその後のサービスを利用する場合、サービスの事業所側のほうで2週間ぐらいは様子を見てくださいという話がありました。これは高齢者に限らず障害の方もそうなのかもしれませんが、その間があいてしまうのが、病院の職員としては課題だと思っています。どこかでご検討していただければと思います。</p>
G 委員	<p>いろんなお話を聞かせていただいて、社会福祉協議会として何ができるのかなと考えていますが、昨年度は、気軽な勉強会ということで、障害者基幹相談支援センターの企画された研修会に呼んでいただきました。成年後見部門を担当している職員と、日常生活自立支援事業をやっていますが、それを担当している職員と</p>

H委員	<p>両名で出席させていただいて、そこで実際のケースにかかわっていらっしゃる相談支援事業所の皆さんと色々な意見交換をさせていただくことができました。これは私たちにとってもすごく有意義でした。情報共有していく中では、こちらでいろいろお手伝いできることも見えてくるし、改善していかなくてはいけないところも見えていくのかなと思っていて、お話を聞く中でピンポイントでこれということはあげにくいですが、できるだけそういう機会をたくさん持たせていただいで情報共有する中で協力させてもらえるとありがたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。</p> <p>C委員のほうから現場の生の声を聞かせていただきました。、その声を部会で取り上げて、これからどういう方向で話を進めていった方がいいか、聞きたかったことだったので、参考になりました。</p>
I委員	<p>私も事業者生活介護、就労、生活介護等に携わっています。感想になりますが、なかなか受けたくても高齢の利用者がかなりいらっしゃったりして、その部分で定員が空いていない状況で申し訳なく思っている部分もあります。介護保険の基準該当、利用拡充を少しずつ進めていく中で、事業所内の利用者の方もライフスペースの活用循環みたいな形で、支援学校の卒業の方を受け入れることもできるようになるかと思ひます。また現状だとなかなか生活介護を週5日全部じゃなくて、1日とか2日、日数制限をかけたたり、その他にも移動支援を使っただけとか、1か所じゃなくて様々な事業を使っただけだと思ひます。C委員からもお話があったように、来年度11名の卒業生がいるということですし、その後もご希望の方は、まだいらっしゃるはずなので、こういう部分はなるべく早く進めていかないといけないと思わせていただきました。我々としても職員が足りなかったりスキルアップの部分も必要な課題だと思ひますので、少しずつできればと改めて思ひました。</p>
西脇会長	<p>皆さん貴重なご意見を頂きまして制度や仕組みだけでは網羅しきれない個々の事情があると思ひます。新型コロナウイルスに象徴されるような環境の変化ですとか、そういったことを踏まえて支援活動を行っていかれたらと思ひます。</p> <p>次第、4 委託相談と計画相談の人員体制の確保について (資料No.7により説明)</p> <p>次第、5 今年度の振り返り ・自立支援協議会の機能委託相談と計画相談の人員体制の確保について (資料No.8により説明)</p>

入倉副会長	<p>・令和3年度の協議会の活動 (資料No.9により説明)</p> <p>令和3年度の報告等に関することですが、サービス管理責任者の実践研修が今年度から始まっています。そこでかなり意見として出されたのが、地域の自立支援協議会が何をやっているのか分からない、という方が非常に多かったです。可能であれば、新型コロナウイルス禍ではありますけれど見学会であるとか、いろんな事業所から委員なり部会に参集していただくとか、各事業所のサービス管理者の方にできるだけ長岡市の自立支援協議会に何かしら関わってもらえると非常にいいかなと思います。</p>
西協会長	<p>次第、6 各団体からの情報共有</p>
J委員	<p>全体の感想と来年度の活動についての意見です。</p> <p>それぞれの部会から報告いただいた内容を見ても、かなりいろいろな課題が出てきていたり、C委員からのお話にもあった、卒業生がサービス利用につながらないこと。それを来年度につなげて、どこの部会がこの課題をやっていくというあたりをぜひ事務局の方で考え、部会につなげていってもらうのがひとつの願いです。報告を見ても、評価というところで振り返りができませんでしたという部会がいくつかあったと思います。できれば具体的な取り組みを決めた段階で、どこまでがいいかという目標設定をされると振り返りがしやすくなると思います。目標というのは点なので、どこまでが私たちが今年度取り組みとして取り組むかという点をしっかりと部会で決めていただくと振り返りがしやすいと思います。そのほかにも副効果というのがいろいろあると思うので、ぜひ部会の皆さんから1年間、自立支援協議会で話し合っ、事業所でこんなところが変わった、良くなりましたというのが部会で委員の皆さんから上がってくるとそれも効果になると思うので、ぜひそれを上げていただくと第三者から見ても分かりやすい報告になると思います。C委員がおっしゃった何人中何人という数字で示すのは効果として見やすいと思います。そういった数値を意識しながら目標を立てられるのも良いかと思います。</p>
西協会長	<p>次第、7その他</p>
福祉課長	<p>皆様におかれましては非常に精力的にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。ご協議された中、今日の議論の中にも出てきた重要なキーワードとして「生活介護」というワードが出てきました。その中でも「強度行動障害」というキーワードが今の課題として浮かんでおります。</p>

	<p>冒頭、部長の挨拶でも触れていましたが、協議会の中でご協議、検討いただいた現場の生きた声を、なるべく私のほうとしても予算を付けて、政策として形にしたい。というふうに思っております。今ほど申し上げた、生活介護、強度行動障害について来年度取り組んでみたいと考えていることがございます。また年度が改まりましたら、説明会なりさせていただこうかなと思っておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。</p> <p>さて、また協議会の話に戻しまして、西協会長の任期についてご報告申し上げます。西協会長におかれましては、商工会議所の女性会の会長というお立場でこの協議会にご参加をいただいております。この度本体の会議所の女性会の会長の方を今月いっぱい退任されるということになりまして、自立支援協議会のほうも退任されるということになりました。今月いっぱいということになります。西協会長におかれましては、非常に対極的な見地からご意見をいただきまして誠にありがとうございました。この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。せっかくの機会でございますので会長から一言退任のご挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
西協会長	<p>1年間、会長職をお受けいたしまして、専門用語が飛び交う中で、一生懸命勉強をしてついて行きたいなと思いつつも、なかなか理解が及ばないところがたくさんありまして、委員の皆様にはご迷惑をおかけしたと思っております。</p> <p>昨年1年大河ドラマで渋沢栄一が放映されましたけれども、渋沢栄一が目指した世の中というのは、経済活動を活発に行うためには社会保障が充実していなければいけないんだと折に触れ耳にすることがございました。この場もそういった一つであると思いましたが、こういった活動を皆様が熱心に行っているということを目の当たりにして、心強く思っております。本当に勉強不足ですけれども、今、戦争のテレビで悲惨な状況、こういった中で障害者の皆さんはどこに避難してどうしているんだろうということにも思いが及ぶようになりました。</p> <p>この年になってまた1年勉強させていただき成長させていただいたなというふうに感謝を申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。</p>
障害者基幹相談支援センター長	<p>会長におかれましては、1年間ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第2回長岡市障害者自立支援協議会を閉会いたします。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。</p>